

令和4年度第5回富津市地域公共交通会議 議事録 (要旨)

1 会議の名称	令和4年度第5回富津市地域公共交通会議
2 開催日時	令和5年3月30日(木) 午後2時30分～午後3時20分
3 開催場所	富津市役所2階第3委員会室
4 議題事項	<ul style="list-style-type: none"> ・富津市地域公共交通計画の策定について ・令和4年度決算(見込)及び令和5年度予算(案)について
5 出席者名	<p>富津市地域公共交通会議委員(15名)</p> <p>富津市副市長 小泉 義行 日東交通(株)運輸部長 高橋 晴樹 一般社団法人千葉県タクシ協会理事兼南房支部長 京成タクシーかずさ(株)代表取締役社長 手塚 真一 東日本旅客鉄道株式会社 木更津統括センター君津駅長 中川 麻美 東京湾フェリー(株)常務取締役 寺元 敏光 富津地区区長会長 川口 泰明 大佐和地区区長会長 赤井 義昭 天羽地区区長会長 嶋野 利郎</p> <p>国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官 高橋 直人 一般社団法人千葉県バス協会 専務理事 成田 斉 日東交通労働組合 富津支部長 安田 等 君津市企画政策部企画調整課長 馬場 貴也 日本大学理工学部交通システム工学科教授 藤井 敬宏 NPO法人わだち 理事長 木村 景三 (前委員 NPO法人わだち 運行管理者 河野 幸太郎 同席) NPO法人峰上交通 副理事長 明石 吉郎</p> <p>事務局(8名)</p> <p>総務部参与 石川 富博 総務部企画課長 阿部 淳一郎 企画課公共交通係長 網代 和貴 主事 平野 裕理 主事 手島 颯士 社会福祉課社会福祉係長 山田 大介 介護福祉課高齢者支援係 副主査 飛澤 賢宏 社会システム株式会社 白木 文康</p>
6 公開又は非公開の別	公開・一部公開・非公開
7 公開の理由	富津市情報公開条例第23条第1項に該当
8 傍聴人数	1人(定員10人)
9 所管課	総務部企画課公共交通係 電話 0439-80-1229
10 議事録(議事の要旨)	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

令和5年4月20日

富津市地域公共交通会議

会議録署名人

中川 麻美

会議録署名人

馬場 貴也

第5回「富津市地域公共交通会議」議事録

発言者	発言内容
<p>事務局 (網代係長)</p>	<p>1 開会</p> <p>富津市地域公共交通会議の委員の皆様方には、本日はご多用のところお集まり頂きありがとうございます。</p> <p>はじめに、大変恐縮でございますが、資料の差替えをお願いしたいと思っております。資料4「富津市地域公共交通会議 令和4年度決算（見込）及び令和5年度予算（案）について」の資料に、国からご助言をいただき、資料に差替えがございましたので、訂正後の資料をお席に置かせていただいております。</p> <p>それでは改めて、会議前に、本日の資料の確認をお願いします。</p> <p>事前に郵送させていただきました本日の「会議次第」、資料1「富津市パブリックコメント手続実施結果報告書」、資料2「富津市地域公共交通計画（案）前回会議からの修正表」、資料3「富津市地域公共交通計画（案）」、訂正後の資料4「富津市地域公共交通会議 令和4年度決算（見込）及び令和5年度予算（案）について」でございます。</p> <p>続きまして、席にお配りいたしました「委員名簿」、「席次表」、以上が資料です。お揃いでしょうか。</p> <p>開会に先立ち、会長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>それでは、小泉会長、よろしく申し上げます。</p>
<p>小泉会長</p>	<p>開会にあたり、私から一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>本日は、年度末のご多用のところ、委員の皆さまにおかれましては、本会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、今年度は、令和5年度以降の本市における公共交通のマスタープランとなる「富津市地域公共交通計画」策定の年ということで、書面会議を含めこれまでに計4回の会議を重ねてまいりました。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、活発なご議論、様々なご意見をいただきましたこと、重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>今年度最後となる本日の会議は、前回1月末に書面開催いたしました会議後に実施いたしましたパブリックコメントの結果報告と、計画に反映させた部分などをご説明させていただきたいと考えております。</p> <p>議題につきましては、のちほど説明がありますので、お聞き取りのうえ、簡単ではございますが、会議冒頭に当たっての挨拶とさせていただきます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
<p>事務局 (網代係長)</p>	<p>それでは、ここからは、富津市地域公共交通会議設置要綱第6条第1項により、会長に議長となっただき、議事進行をお願いします。</p> <p>小泉会長、よろしく申し上げます。</p>
<p>小泉会長</p>	<p>それでは、ただ今から令和4年度第5回富津市地域公共交通会議を開始いたします。よろしく願い申し上げます。</p> <p>最初に、本日の出席状況の報告等、事務局からお願いします。</p>

<p>事務局 (網代係長)</p>	<p>本日の出席状況を報告いたします。 出席者 15 名、欠席者 3 名です。 従いまして、富津市地域公共交通会議設置要綱の規定により、半数以上のご出席をいただいておりますので、会議が成立していることを報告いたします。 続きまして、会議の公開について説明致します。 富津市情報公開条例 第 23 条第 1 項の規定により、本会議では、傍聴者の受入れ及び会議の議事結果を公表いたします。 会議録作成のため、録音機の使用をさせていただきますので、ご了承願います。 なお、質疑応答の際は、自席のマイクをご使用ください。マイクの電源は職員で操作しますのでスイッチは押さずにそのままご発言ください。 また、会議時間の短縮に努めてまいります、委員におかれましてもご協力をお願いします。以上です。</p>
<p>小泉会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。 続きまして、新任委員のご紹介をさせていただきます。 NPO 法人わだちの役員交代により、河野委員の後任として、同法人理事長の木村景三様にご就任いただいております。</p>
<p>木村委員</p>	<p>木村でございます、よろしくお願いします。</p>
<p>小泉会長</p>	<p>また、本日は前委員の河野委員も同席して行いますのでよろしくお願いいたします。 また、今回新たに NPO 法人峰上交通 副理事長の 明石吉郎様にご就任いただいております。</p>
<p>明石委員</p>	<p>よろしくお願いします。</p>
<p>小泉会長</p>	<p>続きまして、会議録署名委員を指名させていただきます。 中川委員と馬場委員にお願いをいたします。 それでは議題に入らせていただきます。 議題（1）「富津市地域公共交通計画の策定について」、事務局から説明願います。</p>
<p>事務局 (阿部課長)</p>	<p>委員の皆様には、12 月の会議と 1 月の書面会議におきまして、本計画に係るご意見をいただき、大変ありがとうございました。 その後、1 か月間のパブリックコメントを実施し、いただいた意見等を反映し、今回、最終の形にさせていただきます。 それでは、議題 1 「富津市地域公共交通計画の策定について」資料 1、2 及び 3 についてご説明いたします。</p>

表紙にありますとおり、施策等の名称として「富津市地域公共交通計画案」としまして、令和5年2月17日から3月16日まで、パブリックコメントを実施しました。

その結果、11件のご意見をいただいたところでございます。

意見の内容及び意見に対する市の考え方についてご説明させていただきます。

なお、意見の表記については原文のとおり掲載しております。

2ページをご覧ください。

まず、表の見方でございますが、左から意見番号、関連事業の番号、計画案の該当ページ、意見、市の考え方としております。

No. 1のご意見は、路線バスとタクシーに関する内容でございます。原文のまま読み上げさせていただきます。

「地域住民の日常生活に必要な公共交通（住民の足の確保）

現状市では既に大貫地区の場合、大貫駅～市役所～君津駅間において日東交通に補助金を出し、定期バスを運行されたり、タクシー利用者に対し補助金を出しておられるが、特に前記定期バスにおいてはあまり利用客がない様に感じている。

また、今後益々高齢化が予想される、市の未来予想図を考慮し、高齢化による運転免許返上者の日常生活補助、少子化した小中学校の更なる統廃合等を予見し、下記の提案を行いたい。

1. 定期バスを廃し、市内各駅を中心としたループ運行的な定期バスに切り替え（なぜ現行君津駅間を結んでいるか疑問）

①医衣食住教を中心とした各施設と住民居住地域をループ状に結び、高齢化した地域住民の足を確保する。

②朝夕の通学時間帯は通学用のバスとしても利用する。

③富津市内の各駅を中心として循環型で駅→ショッピングエリア→医療機関→行政エリア→教育機関→住民居住地域→駅へ

④料金は原則有料とし現行の乗合定期バス程度の一律料金とし、複数箇所の乗降乗継可能とし利便性を図る。

⑤タクシー補助は上記で対応できないハンディキャップのある方や65歳以上の後期高齢者で、上記で対応できない方のみとする。

⑥③の順路で該当施設がない場合は、隣接駅へ駅間移動を行い、他の循環ルートを利用する。」という意見でした。

その下には、提案として、「大佐和地区でのイメージ」を掲載しております。

これに対する市の考え方は、

「路線バス富津市役所・君津駅線は朝夕の通勤通学時間帯を中心に利用され、直近（R3）では年間延べ約15,000人の方に利用されています。

計画案でお示しのとおり【事業1】市民の移動ニーズに対応した路線バスの再編事業として、人口が比較的集積している富津地区を中心に、青堀駅を起終点とした富津市役所、大貫駅、市立図書館、また、利用意向が高い商業施設、医療機関を経由する循環バス導入の可能性についてバス事業者と共に検討してまいります。

また、現在実施しているタクシー運賃助成制度は運転免許証を保有していない 65 歳以上の高齢者、障がい者等や運転が一時的に困難となる妊産婦を対象としております。」としております。

3 ページをご覧ください。

No. 2 の意見は、内房線に関する意見でございます。

「内房線ダイヤ改訂に伴う、君津駅での各駅停車乗継時間の長時間化を改善する。

内房線は前回ダイヤ改訂時に木更津以南にワンマンカーを運行開始した。

また、その影響で君津駅での列車乗換本数が増大し朝夕の通学・通勤時の乗換列車待ち時間が増大し、地域住民の利便性が低下している。

そんな中、木更津へ通学する子弟をお持ちの父兄より、未来の富津市を担う中高生の受験期を控える子供たちにこんな住みにくい地域には住みたくないと思わせてしまうことが心配だとの意見、それに伴う時間を無駄にしないための父兄の君津駅等の出迎え労力の増加等々、市の方で J R 東日本への改善を要望して、若者の富津離れを若いうちから防止に努力することが、少子高齢化の対策として必要であるのではないかと の意見が寄せられましたので、併せて協議会等の設置を提案する。

このまま放置すると、益々不便になりより利用者が加速度的に減り、悪循環に陥ると思われるので、改善が必要と思ひ提案する。

路線バスによる地域間の駅間移動ともリンクする。

(元々、この地域は快速電車の本数は少なく、特急が数本になった現在、上下列車駅待ち以外待ち時間増大の要因は少ない。）」というご意見でした。

これに対する市の考え方は、

「2017 年 3 月の J R ダイヤ改正で、日中時間帯の千葉発着の館山方面列車は、木更津発着となりましたものの、君津駅での乗換えは同一ホームで可能で、接続時間も改善されています。

2021 年 3 月の改正では、新型車両導入のほか、夕夜間の上総湊発着列車の増発（5 往復分）などサービス面の向上が図られています。

J R へは、千葉県及び本市を含む沿線自治体で組織する「千葉県 J R 線複線化等促進期成同盟」を通じ、利便性向上、安全確保などについて継続的に地域の要望書を提出しており、今後も引き続き実施してまいります。

鉄道と路線バスとの接続改善も併せてバス事業者と進めてまいります。」としております。

続いて No. 3 から No. 8 までは、主に路線バス等に関するご意見でございます。

これらの意見に対する市の考え方は、「ご意見につきましては、今後の取組みの参考にさせていただきます。」としております。

No. 9 のご意見は「A I を活用した送迎システムや、自家用有償運送」に関する内容です。

「買物・通院などすべてのニーズに対応し、助成するのか。

I o T の最大活用が検討の中にあるのか読み解けませんでした。

通信手段が発達している現代社会において、一定の条件下で必要な日時・目的地の配車要請を行うことにより、最適な所要の配車・送迎を行うシステム導入の検討はあり得るのでしょうか。

また、自家用車による送迎システム導入など。

高齢化による交通困難は誰しも起こりうることであり、検討をお願いいたします。」というご意見でした。

これに対する市の考え方は、

「A Iによる配車送迎システムは、近年活用が進められ、効率的な運行に資するものであることから、意見を参考にし、関係する【事業 10】(91 ページ) を修正します。

また、自家用車による送迎システムについては現在市内二つの地域で自家用有償旅客運送、交通空白地有償運送が運行されています。」としております。

ここで、資料 3「富津市地域公共交通計画(案)」をご覧いただきたいと思えます。91 ページをお開きください。

【事業 10】地域と連携した地域特性等に即した移動手段の導入です。

①事業概要に記載の文章の最後段に「また、調査研究に際し、運行の効率化を図るための情報技術の活用も視野に入れた検討を行う。」という一文を書き加えております。

それでは、資料 1 へお戻りください。

4 ページをご覧ください。

No. 10 のご意見は、計画全般に関する内容です。

「高齢になってからは J R 駅の階段の昇り降りが苦痛となり、J R を利用するときは君津駅まで自家用車で行っています。

南の地域には J R は利用できず自家用車で行っています。

私は竹岡地区に住んでいますので「ぶちバスわだち」を利用することができますが、運行する道路まで歩いて行けません。

高齢者は自宅まで配車してくれるデマンドタクシーを望みます。

また、峰上地区の「峰タク」が、デマンドタクシー型で実証運行されています。

プロの運転手が同地域にいらしたから良かったと伺いました。

「運転手の確保策の実施」で二種免許の取得の支援として、富津市が補助制度を検討すると書かれています。

上総湊駅にタクシーが常駐し、電話を掛ければ 15 分くらいで来てくれるようになれば、免許証を返納してもこの地で暮らしていける希望が持てます。

ぜひ多くの方が市の思い切った援助で二種免許の取得が出来ますようお願いしています。」といったご意見でした。

これに対する市の考え方は、

「市内各駅の利便性向上につながるよう引き続き J R と情報共有を図りながら取り組んでまいります。

次期計画では、バス、タクシーなど既存公共交通事業者が課題として抱える人材不足に対する支援等を通じ、その確保維持に貢献できるよう努めてまいります。

交通事業者ではカバーされていない地域においては、どのような移動手段がその地域に適しているのか、引き続き地域住民と連携し、地域特性に合った持続可能な移動手段の導入を検討してまいります。

ご意見につきましては、今後の取組みの参考にさせていただきます。」としております。

5ページをご覧ください。

No. 11のご意見も計画全般に関する内容です。

「JRは大切な移動手段。(特に遠隔地)前からの課題のようですが、高齢者にとっては階段の昇降は最大の難敵。

引き続き行政の働きかけを粘り強く、強力にお願いしたいです。

デマンド型交通手段を強く要望します。

峰上地区のような形態がもっと広い地区をカバーして欲しいです。

また、ダイレクトに地域の声が届くよう公共交通会議に市民の代表を多く入れて欲しいです。

多様な立場の違う、また、若い人が入ることで交通問題を越えた富津市全体が活気づくような視点が生まれると思います。」といったご意見でした。

これに対する市の考え方は、

「地域毎に抱える課題は様々でありますので、解決にあたっては、既存公共交通の見直しに加え、新たな移動手段の導入、スクールバスの活用など様々な輸送資源の活用も含め検討を行います。

市内各駅の利便性向上につながるよう引き続きJRと情報共有を図りながら取り組んでまいります。

現在各地域で運行している交通空白地有償運送については、今後も引き続き地域の移動ニーズ把握に努め、よりニーズに合った移動手段となるよう地域と共に調査研究を続けるとともに、人的、財政的な支援をしてまいります。

また、公共交通会議には、現在富津、大佐和、天羽の各地区を代表する3名の委員に構成員となっていただいています。

ご意見につきましては、今後の取組みの参考にさせていただきます。」としております。

以上が資料1の説明となります。

続きまして、資料2をご覧ください。

こちらについては、資料3の計画案の中で、修正した部分の修正前と修正後を一覧にして記載しております。

主な修正箇所といたしまして、グラフ内の5パーセント未満の数値が非表示であった部分の数値を記載しております。

また、細かな字句の修正となっております。

最後の16ページをご覧ください。上段に記載の部分が、先ほどご説明したパブリックコメントでの意見に基づく修正となっております。

以上がパブリックコメントの意見、また、前回から修正した箇所のご説明とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

小泉会長	はい、事務局の説明が終わりましたので、ご質疑・ご意見がございましたら、お願いいたします。
藤井委員	資料1の方ですが、3ページのNo. 2というところで、先ほどご説明があったとおりで伺うと、ご意見の中で「利便性が低下しているというふうに感じている」のに対して、市は「利便性は向上されている」と真逆の回答をしているところですが、今回ご意見をいただいた方、もしくは市民の方に十分その利便性の向上といったところが伝わっていなかった結果として、こういった齟齬が出たというふうに理解してよろしいのか。その辺ちょっとお伺いしたいと思います。
事務局 (阿部課長)	こちらのご意見は、富津市の区長さんからのご意見で、地域の住民からお寄せいただいたお話だったということで、この辺、どこまで今の話なのか昔の話なのか把握できなかったのですが、おそらく、待ち時間が長かったり、そういったときが昔にあって、それを区長さんの方に市民の方がお伝えしたのかな、というふうに感じておまして、そこは今こういう状況で改善されておりますよ、といったような意見で回答するような形を考えております。
藤井委員	はい。そういうことであれば、現状の利便性の向上が具体的に書かれているので、そういった意図であれば私はよろしいかと思えます。 ありがとうございます。
小泉会長	他にいかがですか。
成田委員	一般社団法人千葉県バス協会の成田です。よろしく申し上げます。 パブリックコメントを拝見しまして、市民の方から公共交通に対する真摯な考えを示されるということが分かるのですが、これはバス事業者、鉄道事業者に関する内容をそれぞれ、ご意見をいただいた訳ですけど、今回このように会議資料で市の考え方が示されたのですが、それぞれのバス事業者、鉄道事業者に対し、「今回のパブリックコメントでこういう意見が来ていて、市はこういう考えだけ。」という話を、事前に意見照会をされたのか、について市にお伺いしたいと思います。
事務局 (阿部課長)	今回のパブリックコメントに対しての回答に関しては、申し訳ないですが、バス事業者さん、JR事業者さん、そしてタクシー事業者さんには連絡等はしていなかったのですが、市の考え方ということで、今回の会議に挙げさせていただいております。以上です。
成田委員	例えば、鉄道に限定したことではないですが、公共交通計画の87ページに記載されている事業3では、このイベントの開催がもう2023年から始まるようになっておりますので、具体的にいつ頃イベントが始まるといった情報なんかも市のコメントの中に入れることができたのではないかという感じがいたしましたので申し上げました。

	<p>今後、計画策定後も、バス事業者や鉄道事業者など公共交通に関する事業者に、いろいろと市民のご意見を調整するということをお願いできれば、という形で私の発言を以上とさせていただきます。</p>
<p>事務局 (阿部課長)</p>	<p>はい。次回からは事業者様の方にもご確認の上で回答したいと思います。よろしくをお願いします。</p>
<p>小泉会長</p>	<p>他にいかがでしょうか？</p>
<p>木村委員</p>	<p>わたちの木村と申します。 私共のことが書いてあったのでコメントさせていただきたいのですが、私共としては、公共交通としてバスという形はとっていますが、だ いぶ利用者も増えてきて、いわゆるバスというよりは、顔見知りの 地域の皆さんを助けるような立場でいろいろ動いておりました、気持ち としては峰タクさんと同じような動きで行っております。 実際に我々としては、福祉有償運送ということで、デマンドの方式で も対応できますし、それから予約対応で動いていますのでバスとは言い ながら、少し道路に来られない人がいるのであれば、少しでも近くに寄 せるように、といった配慮をしていますので、皆さんにご理解いただく ようにしていきたいな、と思っていますのでよろしくお願いします。</p>
<p>小泉会長</p>	<p>他の委員さんいかがですか。よろしいですか。 それでは他にご質疑等、無いようでございますので、議題（１）につ いて、決をとりたいと思います。 富津市地域公共交通計画（案）について、原案のとおりとすることに、 賛成の方は、挙手をお願いします。 ありがとうございます、挙手全員でございます。 よって、議題は可決されました。 富津市地域公共交通計画（案）については、案がとれ、富津市地域公 共交通計画となりました。 続いて、議題（２）「令和４年度決算（見込）及び令和５年度予算（案） について」、事務局から説明願います。</p>
<p>事務局 (網代係長)</p>	<p>それでは議題（２）「令和４年度決算（見込）及び令和５年度予算（案） について」、資料４に基づきご説明をいたします。 今年度におきまして、国の補助金を活用した交通計画策定事業を実施 するにあたり、補助対象者は活性化法の法定協議会である富津市地域公 共交通会議に限ることが示され、市の一般会計予算とは独立した会計処 理が求められましたことから、今年度におきまして富津市地域公共交通 会議名義の口座を開設したところでございます。 まず、１の令和４年度収支決算（見込）でございます。 歳入につきましては、市から地域公共交通会議への負担金として 5,500,000 円、計画策定に係る国庫補助金として 687,500 円、合計 6,187,500 円を見込んでおります。</p>

	<p>歳出につきましては、計画策定業務委託費として5,313,000円、市地域公共交通会議負担金返還金として870,000円、振込手数料として1,054円、翌年度繰越金として3,446円、合計6,187,500円を見込んでおります。</p> <p>返還金の算出根拠につきましては記載のとおりとなっております、繰越金につきましては、次年度以降の振込手数料等とするものでございます。</p> <p>なお、補足のご説明をいたします。</p> <p>令和4年度収支決算（見込）につきましては、国庫補助金の入金が4月末頃を見込んでいることから、確定後の決算報告を本年6月中旬に予定しております、令和5年度第1回会議で行います。</p> <p>これに関連し、会議設置要綱第15条に規定する監査委員の指名を、後ほど会長にお願いしたいと考えております。</p> <p>続きまして2 令和5年度収支予算（案）でございます。</p> <p>こちらにつきましては、会議冒頭での資料差替えをお願いした部分でございます。</p> <p>令和2年11月の活性化再生法の改正に合わせる形で、地域公共交通計画の作成及び計画における補助系統等の位置付けの補助要件化、いわゆる「計画制度と補助制度の連動化」が規定されたことを受けまして、本市におきましては、このような補助制度の改正趣旨を反映する形で今回、地域公共交通計画を策定いたしましたので、令和5年6月に国へ認定申請を予定しております、令和6年度事業からは新たなルールによる認定申請を予定しております。</p> <p>新たなルールでは、原則といたしまして、フィーダー補助金についても、いったん地域公共交通会議の口座に入ってくる形になりますので、事前に送付させていただいた資料（案）では、歳入にNPO法人わだちに対する国からのフィーダー補助金として150万円、歳出に同じくNPO法人わだちに対するフィーダー補助金として150万円の計上を想定してございましたが、国の方からご助言をいただき、交付要綱の内容を改めて精査をいたしまして、令和5年度においては従前のおり事業者さんの方に直接交付となり、令和6年度分からは国から公共交通会議への振込みとなることを確認いたしましたので、訂正をお願いした次第でございます。</p> <p>そのため、記載のとおり、令和5年度につきましては会議体としての予算執行を予定しておりません。</p> <p>事務局からの説明は以上です。よろしく申し上げます。</p>
小泉会長	事務局の説明が終わりましたので、ただいまの議題につきまして、ご質疑、ご意見ございましたらお願いいたします。
成田委員	<p>千葉県バス協会の成田です。</p> <p>国からの指導、ということで了解しましたが、地域間幹線系統の国庫補助ですと、補助金の年度は10月1日から翌年度の9月30日、すなわちこちらでおっしゃってる令和5年度っていうのは、実は令和4年の10</p>

	<p>月から始まっています、今回、このフィーダー補助の実績の算定期間が、補助年度として10月からスタートして、翌年の9月末という形になるのでしょうか。</p> <p>国の補助年度と違い、富津市の一般会計予算は4月からですので、補助金が入る時期の状況によっては、資料4の収支予算は年度内に補正するなどして対応する、という形でやっていただければいいと思います。</p> <p>私からの意見という形で述べさせていただきます、以上です。</p>
小泉会長	<p>ご意見の確認ですが、変更になった金額の対象とする年度について確認されたい、ということですね。</p>
成田委員	<p>補助期間がどうなっているのかなと、少し気になったところです。</p>
小泉会長	<p>補助年度について認識にずれがあるようですので、事務局から回答お願いします。</p>
事務局 (網代係長)	<p>成田委員、ありがとうございます。</p> <p>委員のおっしゃるとおり、市の一般会計の会計年度の4月から3月という期間と、国のフィーダー補助金の補助年度に半年間のずれがあるところで、今回このような形で資料の変更となりました。</p> <p>わだちさんに対する補助金の額の算定につきましても、これはあくまでも概算という形で、事前送付させていただいた資料の方には記載しております。</p> <p>令和6年度につきましても、また来年度に予算の承認をお願いするというようなところになりますが、もし予定していた金額に差が生じるようなことがあれば、補正での対応等をご相談させていただきたい、というふうに思います。以上です。</p>
成田委員	<p>令和5年の3月ですが、令和5年の10月から新しい年度がスタートしますので、このフィーダー補助というのが、わだちさんの運行経費の重要なファクターを占めていますので、会議体として遺漏の無いように、書面開催でもいいのでそういう形で、もし必要であれば補正予算を組むような対応をいただければと思います。</p> <p>私からは以上です。ありがとうございました。</p>
小泉会長	<p>他にいかがですか。</p> <p>それでは、他にご質疑等、無いようでございますので、議題(2)について決をとりたいと思います。</p> <p>富津市地域公共交通会議に係る令和4年度決算(見込)及び令和5年度予算(案)について、賛成の方は、挙手をお願いします。</p> <p>挙手全員でございます。</p> <p>よって、本議題は可決されましたので、事務局は新年度に向け準備を進めていただきたいと思います。</p>

<p>藤井委員</p>	<p>また、ここで事務局から補足説明がございましたが、富津市地域公共交通会議設置要綱第 15 条に規定する監査委員として 2 名の方を指名させていただきたいと思います。</p> <p>手塚委員と嶋野委員にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>以上で本日の議事は終了いたしました。</p> <p>その他といたしまして、委員の皆様から何かございますでしょうか？</p> <p>せっかくの機会ですのでちょっとお話をさせていただければ、と思います。</p> <p>今回、地域公共交通計画が成案という形になったということで、拝見すると、地区別の特性とかが非常に丁寧に盛り込まれていて、そして将来のこの 5 年間の計画が、より具体的に示されてきているといったところで、これに対しては「とてもよくまとまっているな」、といったのが感想です。</p> <p>そして、その次の取組みといったところで、この計画の 1 枚めくったところに、「はじめに」というキーワードで SDG s が実際書き込まれています。</p> <p>私は、他の自治体でも公共交通計画に関わる機会が多いのですが、その中で具体的にこの「169 のターゲット、すなわち 11-2」という項目で、公共交通の分野では、2030 年で脆弱な立場にあるといったところが、順番というわけではないですが、「女性、子供、障がい者および高齢者のニーズに特に配慮し」というキーワードを初めに入れていただいた、これは非常に公共交通を展開する上で重要なことだと私は思っています。</p> <p>その中で、今回の公共交通計画の期間としては、2030 年が入ってきませんので特に予定されるところではないですが、次期の計画のときには、まさしく中間年が 2030 年というところでこの SDG s に取り上げられた、この公共交通の枠組みがきちんと富津市においても確保あるいは担保されているかどうか、この辺のところはやはり確認をしていくっていうのはとても大事だろうと思っています。</p> <p>その中で、逆に富津市はすごく難しいな、と思っているところは公共交通の利用率が極めて少なく、自家用車の利用率が約 8 割近くある。</p> <p>その 8 割近くがある中で、公共交通が役割を担いながら頑張っているという実情がある中で、今回、タクシー補助という形で 65 歳以上、あるいは妊婦さんといったところにタクシーの補助運用ができるようになったということで、ここの中身のアンケートを反映していると、「家族に頼らなくて済むようになった」とか、あるいは「外出できる機会が増えた」というパーセンテージが確実に上がっているんですね。</p> <p>その内容を見ると、おそらくは高齢者、こういったところの声が非常に大きく反映しているかな、というふうに思います。</p> <p>次のときには、「女性、子供」といったキーワード、こういったところが実際の移動といったものに対して、どのような形で外出といったものの支援を受けられるようになったのか、あるいは外出する機会といったものをきちんと確保されるような移動手段・モビリティの確保、これに</p>
-------------	--

	<p>繋がっているのかといったところの検証が必要になってくるのかな、と思っています。</p> <p>そういった面では非常に公共交通のパーセンテージが少ない中で、自家用車分担率が高いという富津市ならではの問題点を抱えている状況下で、ここを評価するのは非常に難しいかなというふうに私は思っているのですが、でもやはりそれに取り組みないといけないというところがありますので、今回の計画に入れていただいた以上、頑張ってくださいなということで、どちらかという応援メッセージでございますので「頑張ってください。」というところです。以上でございます。</p>
小泉会長	<p>藤井先生ありがとうございました。</p> <p>ただいまの関連でも結構ですが、ご質問、ご意見など他にございますでしょうか？</p>
成田委員	<p>私の方から富津市の地域公共交通計画が本日出来上がったということでお喜び申し上げます。どうもありがとうございます。</p> <p>先ほどの予算案が、振込手数料等ではありますが、来週からすぐ4月になりますので、そういう意味で事業計画というのは4月以降着手されるということだと思いますが、また近い時期に公共交通会議の中で、次回は令和5年度の事業計画についてもご提案いただいて、令和5年度は何があるのかという部分についてはぜひお話をいただければと期待しておりますので、よろしく願いいたします。</p>
事務局 (阿部課長)	<p>計画の案につきましては、令和5年度の1回目の議会で議員の皆様にもお示しする予定でございます。</p> <p>また、製本でき次第、委員の皆様にもお配りする予定であります。</p> <p>それから、公共交通計画の中でまず直近にこれを行う、といったような内容につきましては、担当課の方で検討している状況ですので、次の会議で示せるところがありましたらご報告させていただきたい、と思っております。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
小泉会長	<p>他にいかがでしょうか？</p> <p>それでは、委員の皆様からはないようですが、事務局から何かありますか。</p>
事務局 (網代係長)	<p>監査委員とされましたお二方には、決算資料の方が整い次第、改めて監査についてご案内をいたしますのでよろしく願いしたいと思っております。以上です。</p>
小泉会長	<p>はい、お二方よろしく願いいたします。</p> <p>それではその他について、以上で終了いたします。</p> <p>以上をもちまして全ての議事を終了いたします。</p>

事務局 (阿部課長)	<p>本日の会議内容は会議録の確定をもって取りまとめさせていただきたいと存じますので、ご了承くださるようお願いを申し上げます。</p> <p>円滑な議事進行にご協力をいただき、誠にありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>本日は年度末のお忙しい中、長時間にわたりましてご議論いただきましてありがとうございました。</p> <p>なお、次回の公共交通会議の開催は6月を予定しております。後日改めて通知させていただきますので、ご承知おきください。本日はありがとうございました。</p>
---------------	---

以上